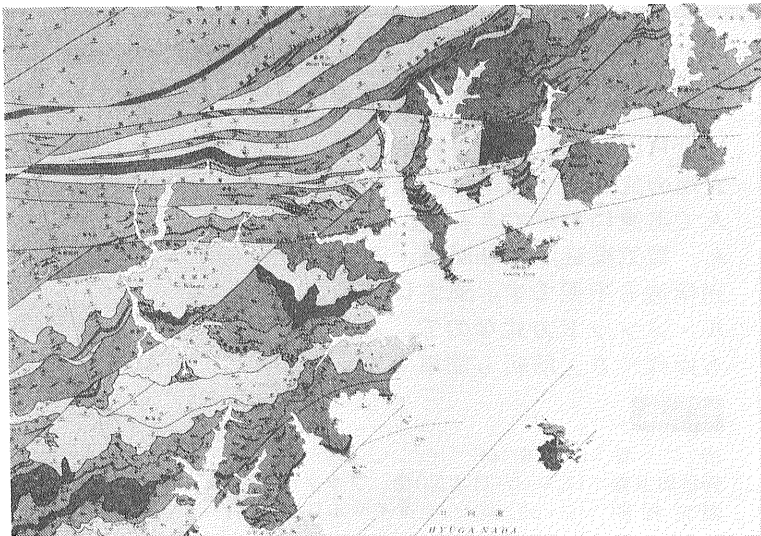


蒲江図幅地域は九州の東端部に位置し 大分県と宮崎県にまたがる地域です。 本地域の南東部は日向灘が占め 複雑に屈曲したりアス海岸が北東—南西に続いています。 サンゴの生息する青い海に浮ぶ大小の島々と岬と入江が組み合わされた景観が楽しめる風光明媚の地であり 日豊海岸国定公園に指定されています。

この地域には 主に四万十果層群の白亜系諸塚層群と古第三系北川層群が分布しています。 これらの地層は諸塚山図幅 (既刊) 地域に分布する地層と同一層準ですが 本地域の方が一般に片理の発達が弱く かつ変成鉱物の再結晶の程度も低いという特徴を持っています。 この点で頁岩中に放散虫化石が保存されやすい状況にあり 砂岩の鉱物組成や変成鉱物などのほかに放散虫化石の検討も行なっています。 その結果 地層名はできるだけ諸塚山図幅を引き継いでいますが その層序的位置付けを大幅に変更しています。

この地域には大局的に北から南に向かって 諸塚層群下部の椎葉層 諸塚層群上部の槇峰層・八戸層 北川層群が 低角度の走向断層に境されて顕著な覆互構造を作って分布しています。 椎葉層と八戸層は主に砂岩 槇峰層は主に頁岩からなり塩基性岩・チャートを伴い 北川層群は砂岩頁岩互層から構成されています。 椎葉層からは白亜紀のアルビアン—セノマニアン 槇峰層からはコニアシアン—サントニアン 北川層群からは古第三紀を示す放散虫化石が それぞれ頁岩中から見つかっています。

かつては交通の便が悪く陸の孤島といわれた地域ですが 最近は海岸沿いや山越えの道路や林道がたくさん作られています。 全国共通の現象として 主要道路沿いの崖はコンクリートに塗り固められています。 林道では連続露頭が見られます。 例えば 古江の西から登りだして森山の南側を半周し岳山の南山腹に至る林道では北川層群と北川層群に衝上している槇峰層の頁岩 (千枚岩) 森山の山頂を構成している塩基性岩 そして八戸層が見られます。 代表的な巡検コースとしては 延岡—古江—三川内—石神越—佐伯をすすめます。 時間の余裕があるときは 古江から蒲江に足を延ばして船底にガラス窓を付けた観光船に乗り サンゴを見て佐伯に出るコースなどが考えられます。 どのコースでも海岸の景色と海の幸も楽しめます。 なお 県境を越えるバス



の便がありませんので 自動車が必要です。



5 万分の 1 地質図幅の新刊

蒲 江
K A M A E

5 万分の 1 地質図幅 地域地質研究報告



著 者 奥村公男・寺岡易司・杉山雄一
 発 行 工業技術院 地質調査所
 取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401
 そのほか全国主要書店
 販売価格 2,390円

地 質 ニ ュ ー ス	第 374 号	10 月 号
	定 価 ￥ 600	千 実 費
昭和60年10月1日	編 集	発 行
	発 行 人	工 業 技 術 院 地 質 調 査 所
	発 行 所	林 久 雄
		株 式 会 社 実 業 公 報 社
		東 京 都 千 代 田 区 九 段 南 4 の 2 の 12
		〒 102
		Tel. (03)265-0951(代表)
		振 替 口 座 東 京 1-32466
総発売元		株 式 会 社 実 業 公 報 社
		出 版 事 業 部